

# 令和3年度 教育目標・目指すべき子ども像・学校経営について

## 1 教育目標

「志高く、確かな目標を持ち、仲間とともに自己を磨く子ども（こぶしっ子）の育成」		
○（徳）心やさしい子ども	<b>なかよく</b>	←豊かな心
○（知）自ら学ぶ子ども	<b>かしこく</b>	←確かな学力
○（体）明るくたくましい子ども	<b>のびのびと</b>	←健やかな体
} 「生きる力」		

## 2 教育目標充実の視点

<b>【人間関係力】</b>	：自分自身を見つめ、よさを知り可能性を伸ばす。 ～「自分づくり」の力を育てる～ 「思考力」・「判断力」の育成
<b>【自己実現力】</b>	：集団の中で、自分自身を十分に発揮する力を身につける。 ～「自分を生かす」力を育てる～ 「表現力」・「積極性」の育成
<b>【習慣形成力】（共生）</b>	：「人・もの・こと」を正しく見つめ、かかわり合い、学び合う。 ～「関係づくり」の力を育てる～ 「コミュニケーション能力」・「協調性」の育成

本校には、素直で一生懸命な児童が多い。その特性を最大限に伸ばさせつつ、将来、自分の良さを発揮できるような、徳・知・体にバランスのとれた児童を育成していきたい。

そのために、教育目標充実の視点を生かし、自分の良さをしっかり意識させて自信を持たせること。次に、他人の良さに思いを馳せる体験を積ませること。そして、自己の課題や周囲との協調を考えさせ、困難やトラブルを乗り越えさせる体験をさせていくこと。その上で、自分自身を十分に発揮させていくこと。これらのアプローチを元に、教育目標の実現に迫る。未来に大きく羽ばたくように夢を持たせたい。

## 3 目指すべき子ども像

子ども像	育てたい姿勢	教育実践上の課題
「心やさしい子ども」	なかよく（思いやりの心）	豊かな人間関係づくり
「自ら学ぶ子ども」	かしこく（学ぼうとする心）	みんなで伸びる学習づくり
「明るくたくましい子ども」	のびのびと（健やかな心と体）	自らを鍛える習慣づくり

平成15年度から継続して掲げられている「子ども像」である。教育目標の具現化、すなわち、「こぶしっ子」の育成に向かって子どもたちをどのように育てていくかを端的に示したものであり、教育目標の改訂の際にも大きなよりどころとなったものである。

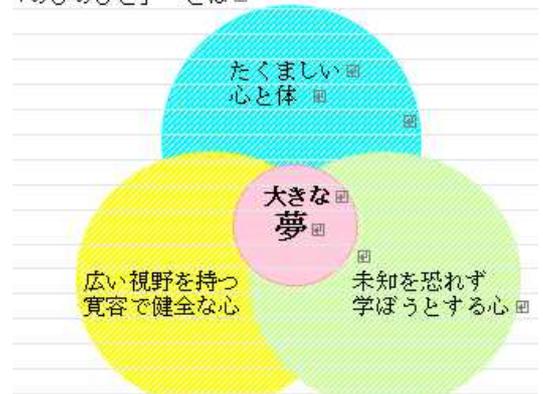
育てたい姿勢の

**「なかよく・かしこく・のびのびと」**

については、学校の名前で言い表すことによって、子どもたちにもわかりやすく浸透させやすいように掲げられており、基本方針として今後も継続していきたい。

特に「のびのびと」は、「広い視野を持つ寛容で健全な心」と、「未知を恐れず学ぼうとする心」の二つの面を基本とし、その上で、心身の健全な発達により「たくましい心と体」を身につけ、目標（大きな夢）を持ち、未来に大きく、「のびのびと」と羽ばたく子どもと捉えていきたい。

「のびのびと」とは



#### 4 校歌と校章について

##### (1) 校歌について

	作詞 鎌田 安蔵	作曲 岡本 敏明
一	風薫る 信夫の里の 咲きにおう 桜を胸に 磨きつつ 我ら 進まん 進まん ともに	
二	そびえたつ 鵬山は 青空に 姿うるわし 仰ぎつつ 我ら 歩まん 歩まん ともに	
三	たくましく ほまれゆたかに 清らかな 医王の森に 意気高く 我ら 励まん 励まん ともに	

元本校校長・鎌田安蔵氏の作詞で、昭和26年に制定。

**磨きつつ 進まん**

**仰ぎつつ 歩まん**

**意気高く 励まん**

**ともに**

地域の中でこうあってほしいという子どもの姿が詠まれている。市内中心部から離れ、小規模校である本校にとって恒久的な願いである。

さらに言えば、この三つの「決意」はいずれもたゆまぬ向上心を言い表しており、目標を高く持ち、強い気概で、前を向いて進んで行こうとする姿を描いており、こうした校風を意識して歌唱させたい。

**風薫る 信夫の里**

：「中野」ではなく「信夫」ということで、広く福島盆地全体を見渡しているような大きな視野が感じられる。

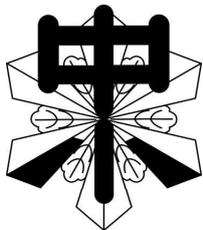
**そびえたつ 鵬山**

：「鵬山」は、旧大鳥城があった「館山」を指すとみられ、かつてこの地域を治めた武将の居城があったという誇りが感じられる。

**清らかな 医王の森**

：歴史的な深さを「森」と表現したのか、その前の「清らかな」と相まって「医王の森」という表現は深い。

##### (2) 校章について



昭和39年に制定。郷土の花である「辛夷（こぶし）」をあしらっている。こぶしの花は香気と穢れなさを、こぶしの葉は平和を、そして、こぶしの枝はたくましさを示し、寒冷な風土に耐え、美しい花を咲かせる「こぶし」のように育ってほしいという願いが込められている。こぶしの6枚の花弁は、「清純、潔白、自主、明朗、質実、剛健」を表している。これらのことから、中野小の子どもたちは「こぶしっ子」と称されている。

#### 5 学校経営の基本方針

『自分のよさを実感できる学校をめざして』を大きなテーマとして掲げ、保護者、教職員、地域それぞれのよさを活かし融合することで教育目標の実現に迫りたい。目標を達成するために、教育目標充実の視点の3つの力である「人間関係力」「自己実現力」「習慣形成力」の育成を図りたい。

##### 【目指すべき学校の姿】

- 子どもたちが生き生きとしている学校
- お互いを大切にできる学校
- 自分らしくいられるとともに、自分のよさを発揮できる学校
- 思ったことを素直に話せる学校
- みんなが目標に向かって行動する活気のある学校
- 互いの意見を尊重し、協力して活動できる学校

また、目指す児童像を、

自分のよさをよりよく生かそうと進んで行動できる人間

とし、自分のよさをよりよく生かそうと進んで行動することで、中野や福島市、福島県、日本のために、自分のよさを生かそうと進んで行動できるたくましい子どもたちを育てていくことが大切であると考える。